

みんなに伝えたい  
**大発見!**



立川 大地さん

海ホタルって  
本当にきれい。  
海を守らなきゃ  
って感じました

たらい舟の操船が  
難しかったけど  
面白かった。  
またやってみたい



小林 獅門さん

私たちの生活に  
港と船が  
必要なことに  
気がきました



渡邊 梨希花さん

## 港の豆知識

海の上にも「国道」が  
あるって知ってた?

新潟県や福井県を通る「国道8号線」みたいに佐渡と新潟をつなぐ航路は「国道350号線」に指定されています。道路と同じように、この航路が大切ってことなんだよね。

通信機器があるのに  
信号旗って必要なの?

海は世界中とつながっていて、乗組員の国籍もさまざま。たとえ言葉が通じなくても、世界共通のルールで決められた信号旗があれば、意思の確認ができるというわけ。



なんで? えっ?

海と港の秘密を解き明かせ!

## こども港調査隊の冒険に密着!

船の歴史を学び、佐渡の自然を感じた2日間。実際にフェリーに乗り、千石船やたらい舟といった特徴の違う船にふれるなど、港や船の役割を体験する調査でした。

直江津港から高速カーフェリーで小木港へ。デッキも見学しました。

これからフェリーで小木港に向かいます

小木港は1泊2日の長い調査です!

船の中も探検したよ

直江津港から高速カーフェリーで小木港へ。デッキも見学しました。

船大工の町・宿根木へ。明治時代にタイムスリップしたみたい。

ふくげん 復元された千石船「白山丸」へ

佐渡国小木民俗博物館では、江戸時代の木造船を復元した白山丸を見学。船造りの歴史や技術は驚きの連続。

翌日は海岸清掃からスタート!

青く光る海ホテルに興味津々。海を守ろうって、みんなが感じたよね。

加茂湖で再生した葦で作った舟です

里海を育てていこう

「里海」は暮らしと密接につながる海や湖のこと。一人一人が関心を持ち続けることが守り育てていくことになるんだそう!

2日に渡った長い調査も結果発表で終了。本当におつかれさま!

はい、チーズ

たらい舟を操船!

サザエやアワビをとるためのたらい舟にも乗ったよ。思うように進まなくて難しい!

ビックリ スゴイ!

日本海のみなと大発見

こども港調査隊報告書③

## 金や銀の輸送でも繁栄した観光港★

# 小木港 (新潟県)

新潟県

佐渡の南端に位置する小木港は、かつて佐渡金山の金や銀を輸送する港として現在は島への物資と観光客を運んでいる観光港です。年間約13万人が利用し、約2万5千台の自動車を運びます。

- こんな港! 3つのまとめ
- 物流と観光を担う佐渡南部を支える港
  - 昔は佐渡金山の金や銀を運んでいた!
  - 観光地ならではのたらい舟に乗れる!

観光拠点としての顔も

島外から食糧やエネルギーを運び入れたり、定期便を結んで島民や観光客を運んだり。離島である佐渡にとって、港は重要な施設です。小木港は佐渡・南部の玄関口で、たらい舟やクルーズ船に乗れる観光港としても活躍しています。

昔は佐渡金山でとれる金や銀、新潟の米や日本海のニシンやコンブが運ばれていました。

人と物資を運ぶ、届ける

小木港は新潟県の直江津港と航路を結び、カーフェリーやジェットfoilなどを使って、島民に必要な物資や観光客を運んでいます。また、佐渡でとれる米や魚、野菜はおいしいと評判で、港から船を使って全国に運ばれています。

調査隊が乗船した高速カーフェリーは、628名の乗客と乗用車152台を一度に運べるそう!

安心と安全な航海を

新潟県の3市と佐渡を結ぶ航路を運営する佐渡汽船は、毎日数千人を乗せて航行しています。大勢の命を預かる船長や乗組員の皆さんは、天気が良くて波がおだやかでも真剣そのもの。万が一に備えることが安全につながっているのです。

たらい舟を楽しく安全に操船してくれる船頭さんは、観光地としての顔を持つ小木港ならではの姿です。

海ホテルが集まる海へ

佐渡・西部の真野湾で見つけた発光するプランクトン・海ホテルは、きれいな海でしか生きられないそう。新潟県や福井県のほかの海はどうだろう? 「海を守る」には一人一人の考え方が大切。友だちにも教えてあげよう約束しました。

海岸には外国からのゴミがたくさん! きれいな海を守るため、みんなで清掃しました。